学校番号	２１５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）国語演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新国語問題集アシスト第 23 集古文編　（啓隆社）						
副教材等	新しい共通テスト国語対策問題集現代文編実践レベル　（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①「継続は力」。家庭学習課題は必ず提出すること。復習も必ず行うこと。
②問題は、時間を計り、自分の力でやりきること。分からない語句の意味は必ず調べること。
③評論文読解の第一歩は本文の要約。本文を３つの段落に分け、それぞれ要約文を作成すること。
④古文の読解について、登場人物を把握し、各文では動作の主（主語）を確認しながら読むこと。
⑤問題文に関係する文学史は必ず読み直しておき、重要作品・文学思潮を確認しておくこと。

2　学習の到達目標

演習を通して論理的、批判的に考える力を伸ばし、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深める。
【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
ことばへの認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実生活やこれからの社会生活に必要な知識技能を身につけている。	読解力・表現力を身につけている	ことばへの認識を深め、自己を向上させようと授業に積極的に取り組んでいる

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	テキストに沿って、現代文・古文の入試問題を解いていく。最初は基礎的な問題から取り組み、回を追うごとに難易度を上げていく。 ［教材］副教材問題集（現代文・古文）	a：文章の構成や論の展開のしかたについて理解を深めているまた、文法や語彙、表現技法について理解している。 b[読]：内容や論点を的確にとらえ、要旨や主題を把握している。また、根拠を示し論点を明確にして主張しようとしている。 c：模範解答と自分の考えの差異を確認し、物の見方や考え方を深く身につけようとしている。正しい知識や技能を反復して身につけようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
2学期	正答率8割を目指し、制限時間内に問題を解く。また、過去の大学入試問題を解く。 ［教材］副教材問題集（現代文・古文）、大学入試過去問	a：文章の構成や論の展開のしかたについて理解を深めているまた、文法や語彙、表現技法について理解している。 b[読]：内容や論点を的確にとらえ、要旨や主題を把握している。 根拠を示し論点を明確にして主張しようとしている。 c：模範解答と自分の考えの差異を確認し、物の見方や考え方を深く身につけようとしている。正しい知識や技能を反復して身につけようとしている。	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 定期考査	ノート・プリント 発問評価 授業態度
3学期	大学入学共通テスト・私立一般入試直前対策を行う。 ［教材］副教材問題集（現代文・古文）、大学入試過去問	：文章の構成や論の展開のしかたについて理解を深めているまた、文法や語彙、表現技法について理解している。 b[読]：内容や論点を的確にとらえ、要旨や主題を把握している。また、根拠を示し論点を明確にして主張しようとしている。	ノート・プリント 発問評価	ノート・プリント 発問評価	ノート・プリント 発問評価 授業態度

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・読むこと　　…　（　７０　）時間